

11月に広島県で、12月には栃木県で小学1年生の児童が、下校途中に事件に遭遇し殺害される事件が発生しました。子どもが被害者となる事件が後を絶ちません。全国各地で起こっている事件が本町でも起こらないとは限りません。大都会であろうと、地方であろうと社会・地域全体がさまざまな方策を尽くさない限り、子どもの安全が守れない時代となっています。

各学校ではこれまでも児童生徒に対し「知らない人に声をかけられても付いていかない」「危険を感じたら大声をあげて助けを求め、近くの家に逃げ込む」などの指導や個々に防犯ブザーを携帯させるなど登下校時にかける安全確保に取り組んできました。

また、教育委員会では今回の事件をうけ、あらためて安全教育の徹底や警察・警備会社の協力による防犯教室の開催など、防犯教育の一層の充実に努めるよう各学校に指示したところです。さらに、浦幌小学校はじめ各学校では教職員による通学危険箇所の確認、児童生徒一人ひとりの通学路を地図上で確認し危険箇所をチェックした通学路安全マップの作成、防犯教室の開催などの取り組みを予定しています。

教育委員会としても、引き続き各学校、警察および関係機関と十分連携をとりながら児童生徒の安全確保に取り組んでいきますが、地域の皆さまにおかれましても、児童生徒の登下校に際しましては、注意深く見守ってくださいますようご協力をよろしくお願いします。

## 登下校時の 児童・生徒の 安全確保に ご協力を

### 留真温泉の冬期間の 維持管理と今後の運営

冬期間の維持管理は、引き続きユーエムに依頼し、浴用水の供給は、汲み取り場を設置し、利用できる体制をとります。そのために、本定例会に汲み取り場の設置費用および浴用水の許可申請に必要な経費を補正予算として提案しています。留真温泉の今後

ただし、年度内に具体的な再編の組み合わせを示します。  
行政区の再編成は、字名改正をするものではなく、町行政と地域との連携の枠組みを変更するものです。

### 国勢調査速報の概要

総務省統計局は、本年10月1日現在で国の最も基本的な統計調査である国勢調査を実施しました。

本町の総人口は6070人でした。この5年間で11・3ポイント、776人減少しました。本町の人口が減少した主な原因は、出生より死亡が上回っている。農業・漁業者の後継者や

の運営等については、職員によるプロジェクトと町民代表によるプロジェクトを設置し、早い時期に一定程度の方向性を出すべく取り組む所存です。

### 救急自動車の横転事故

12月10日に国道38号線で発生した交通事故の現場に際し、救急自動車が発着前に横転する事故を起こしました。患者収容前であったことから幸いにも隊員以外に負傷者はありませんでした。今回の事故を警鐘と

担い手不足による農漁家数の減少。国などの公共機関の撤退若しくは縮小。学校統合などが考えられます。以上の内容は今後分析が必要と思われませんが、国からの地方交付税の減収が予想されます。

### 台風14号被害による 災害復旧事業の 現地査定結果

本年9月7日から8日にかけて本道に上陸した台風14号の被害箇所について、公共土木施設災害復旧事業の現地査定が行われました。

災害査定申請は、橋梁1箇所、河川6箇所の計7箇所、申請額6464万6千円に対し、査定決定額は6360万4千円で、採択率は98・4%となりました。なお、本年度中に工事を発注する予定です。

してとらえ、職員一同再発防止に万全を期します。